

合格体験記

支えてくれたすべての人に感謝します！

鹿児島大学農学部生物環境学科 1 年
黒木 大輔（氷川中学校出身）



●大学進学を目指して八代農業高校に入学

私は国立大学進学を目指して八代農業高校を志願しました。そして高校 1 年生の時、鹿児島大学の説明会に参加し、具体的な目標を農学部生物環境学科に決めました。

●志望の理由（将来の夢）

私の夢は、ふるさと八代地域の農業発展に貢献することです。これからの農業を活性化させるためには水資源の有効活用が欠かせません。大学では、ダム・用水路・森林機能などの総合的な水循環システムについて研究し、卒業後は、県や市町村などの公的機関で活躍したいと考えています。

●勉強と部活動の両立

目標が決まってからは、普段の勉強や部活動はもちろん、農業クラブ役員や生徒会役員を務めたり、ボランティアや環境学習会に積極的に参加しました。3年間努力を継続できたのは、勉強と部活動を両立したからだだと思います。私はラグビー部に所属し、3年生の2学期まで部活動に励みました。そこで身についた精神力や忍耐力が、大学進学に向けたラストスパートに大いに役立ったと思います。

●学習合宿での刺激

大学入試に向けた意識が大きく変わったのは、県内の農業関係高校で大学進学をめざす生徒が集まった学習合宿に参加したことがきっかけでした。国語や数学など教科の授業をはじめ、小論文の講義や現役大学生の体験談など参考になることがたくさんありました。グループ討論では、人前で話すことが苦手な私にとって、参加者の多くがしっかりと自分の意見を主張していることに驚きました。自主学習の時間には夜遅くまで勉強している仲間の姿に、自分の勉強量の少なさを実感させられました。

●大学入試に向けたとりくみ

合宿を終えてすぐに、志望理由を見つめ直しました。大学で自分が学びたいこと、将来どのように活かしたいかをより具体的に考えました。また小論文を書きまくりました。初めのうちは1週間かかっても1本も書けませんでした。最後には1日1本書けるようになりました。そして、面接練習を繰り返しました。数多くの先生方に面接指導をお願いし、専門的な内容をはっきりとわかりやすく伝えることができるように工夫を重ねました。話し下手で自己PRがうまくできずにとっても悩みましたが、今となってはよい思い出です。そして、やるだけのことはやったという思いで入学試験に臨むことができました。

●後輩の皆さんへ

合格発表はインターネットで確認しました。とても緊張しましたが、自分の受験番号をみつけた時の何とも言えない喜びは今でも覚えています。後輩のみなさんにも、ぜひとも味わってほしい「感動」です。そのためにも、はっきりとした目標を持ち、目標達成にむけてできるだけ早めに取りかかることが大切だと思います。また、いろんなことに積極的に取り組むこと、とくに部活動を一生懸命頑張ることは自分の力を大きく高めてくれると思います。

●支えて下さった皆さんへ

最後に、これまで私を支えてくださった先生、クラスメイト、チームメイト、両親には深く感謝しています。おかげさまで目標達成できました。ありがとうございました。これからますます努力して、夢の実現をめざしていきます。



大学入試制度について

本校では、一般入試の他に、専門高校を対象に設けられている推薦入試制度を利用して国公立大学などへ挑戦することができます。また、指定校推薦、AO（アドミッション・カイ入）入試、スポーツ推薦などの多様な制度を利用し、さまざまな大学への進学も可能です。推薦入試は、高校生活での学習成果や部活動、ボランティア活動などの実績や面接や小論文などの評価によって入学者を選抜するしくみです。

昨年度、推薦入試で鹿児島大学農学部に合格した本校の卒業生から合格体験記が届きました。これから高校・大学進学を目指す中学生の皆さんに、ぜひ読んで頂きたいと思います。